

令和 4 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること。 大畑中央公園の施設管理維持に関すること。 大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。 体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること。 上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	48,710	24,288	▲24,422
うち利用料金額	2,210	1,078	▲1,132
うち指定管理料	46,410	23,210	▲23,200
支出合計 (B)	48,710	23,809	▲24,901
うち人件費	23,221	11,605	▲11,616
収支差 (A-B)	0	479	479
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>○収入について</p> <p>計画との増減については、「2. 収支の状況」及び「3. 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>収入合計のうち利用料金額は、計画額2,210千円に対し1,078千円の収入があり、前年同時期に比べると13,440円増加した。</p> <p>施設ごとの利用状況等は、まず、野球場については、利用者数は、計画人数2,400人に対して1,440人の利用があり進捗率は60%、利用料金収入は、計画額190,000円に対して121,870円の収入、進捗率は64%となった。前年同時期と比べると利用者数は増加したが、利用料金収入は4,650円減少した。これは、前年同期と比較し、野球場の一般利用は増加した一方、大会利用が減少したことが要因となっている。</p>		

	<p>次に、庭球場については、利用者数は、計画人数 600 人に対して 117 人の利用があり進捗率は 19%、利用料金収入は、計画額 70,000 円に対して 16,340 円の収入、進捗率は 23%となり、前年同時期と比べると利用者数及び利用料金収入ともに減少した。減少理由は、一般の利用は増加したものの、児童・生徒の利用が大きく減少したことによるものである。</p> <p>次に、陸上競技場については、利用者数は、計画人数 4,300 人に対して 3,190 人の利用があり進捗率は 74%、利用料金収入は、計画額 150,000 円に対して 99,540 円の収入、進捗率は 66%となり、前年同時期と比べると利用者数は 102 人増加、利用料金収入は 38,410 円増加した。増の理由としては、サッカーの大会及びリーグ戦開催数が前年度より増加したこと、自主事業として実施したグラウンド・ゴルフ教室の講師として依頼している、むつグラウンド・ゴルフ協会が教室とは別に協会単独の利用も実施したことが主な要因となっている。</p> <p>最後に、プール施設については、利用者数は、計画人数 9,000 人に対して 4,763 人の利用があり進捗率は 53%、利用料金収入は、計画額 1,800,000 円に対して 840,710 円の収入、進捗率は 47%となり、前年同時期と比べると利用者数は 591 人増加、利用料金収入は 135,840 円増加した。区分別の利用状況は、幼児の利用者数は減少したものの、児童・生徒、一般及びシニアの利用者数は増加している。回数券の売上枚数は、前年同様となったが、夏休み期間中の 1 回券利用者が増加している。</p> <p>○支出について</p> <p>事業経費のうち、燃料費については、燃料単価の高騰が続くものの、今夏は気温が高い日が続いたこともあり、燃料使用量については抑えることができたが、電気料については、燃料費調整額等の負担増加により増額となった。</p> <p>施設の維持管理については、施設設備の安全性を保つため、点検を計画的に、適切に実施したことから、修繕費を抑制できた。施設の老朽化が進む中、今後も機械設備の経年に伴う更新時期も考慮しつつ、施設・設備の維持管理に常に注視していきたい。</p>
--	--

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	野 球 場		2, 4 0 0	1, 4 4 0
庭 球 場		6 0 0	1 1 7	▲ 4 8 3
陸上競技場		4, 3 0 0	3, 1 9 0	▲ 1, 1 1 0
プ ー ル		9, 0 0 0	4, 7 6 3	▲ 4, 2 3 7

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにした。

意見箱で受けた意見等については、全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

意見箱及びホームページからの受信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており利用者への報告を兼ねて公表した。

意見の内容は、好意的な意見が多いが、中には要望も含まれており、その内容については、月次

報告や口頭により担当課に申送りをするなど実現に向けて調整をした。特に施設設備に係る備品等の要望のうち、なかなか購入できない要望物品については、誠意ある説明を継続しつつ、創意工夫を持って要望に対応した。

利用者からの苦情については、常に真摯に受け止め、施設管理者側の意向を丁寧に説明し、理解と協力を得られるよう、迅速かつ誠意を持って対応することを徹底した。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	735	712	555
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング教室	21	15	26
スポーツ振興事業・グラウンドゴルフ教室	107	0	50
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会			19

※少年軟式野球大会の支出は準備費用

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B

④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B
-----------------------	---	---

6. 指定管理者総合評価 ⑤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

新型コロナウイルスによる制限は解除されたが、施設を管理運営するにあたり、水際対策を徹底するため、受付時の利用者の検温や健康観察等を実施するとともに、利用者記録簿による利用者の感染経路の把握にも努めた。

利用者には、基本的な感染症対策を徹底するため、遊泳時を除き、プール館内ではマスクの着用、手指消毒の協力を利用者をお願いをして感染防止に取り組むとともに、定期的に施設内の換気及び消毒を行った。

また、職員については毎日検温を実施するとともに、施設に持ち込まない対策として体調不良のときは躊躇なく休むことを徹底した。職員が濃厚接触者等になったときは、感染状況等について、適宜、担当課へ報告しており、施設として感染拡大を防止しつつ、職員の健康観察実施により安全を担保した。

自主事業については、利用促進と施設の活性化を図るために、積極的に実施した。

6月から実施した水泳教室は、水泳の競技人口増加とともに健康増進につながるきっかけづくりとしての役割を主に果たしている。その成果としては、特に女性限定コースの参加者の増加があげられる。

7月に実施した着衣水泳教室は、前年度は感染症拡大に伴う市外利用者の制限があり中止としたが、今年度は感染対策を徹底して実施した。防災教育としての側面があり、参加者に水難への備えについて伝えることができたと考察している。

ノルディックウォーキング教室は、5月、6月、9月、10月に計画を予定し参加者を募り、9月末までに3回を実施した。5月は、初回ということで、大畑中央公園内で八重桜の開花期間中に実施、それを踏まえ、6月は、大畑中央公園から大畑海浜公園まで往復約7kmの距離をウォーキングした。9月は、大畑中央公園からむつ市下北自然の家まで、峠を越えて歩くルートとし、途中の木々が夏から秋に変わる風景を楽しみながら約8kmの道のりを踏破した。

グラウンド・ゴルフ教室は、前年度実施時に早めの開催要望があったため5月から実施した。2年目となる自主事業だが、参加者の評判も良く、また、自主事業以外にも講師として依頼しているむつグラウンド・ゴルフ協会単独での施設利用もあり、施設利用の増加にもつながったことから、今後は大会開催も検討したいと考えている。

職員の教育訓練については、利用者の安全を最優先に考えた施設運営と施設の維持管理を適正に行う観点から、施設開設前と夏休み繁忙期前に研修を2回実施したほか、事業計画にある消防訓練、救助訓練も計画どおり実施し、職員の資質向上とサービス向上の意識作りを行った。

また、法人で策定した新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを基本とした施設内の感染予防対策については、常に職員に周知徹底を図り、感染防災対策を行っている。

今後も定期的に教育・訓練を実施し、併せて、これまで当施設を管理してきた経験も活かしながら、安全で効率的な施設運営を行い、より高い成果が出るようにしたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

施設の管理運営については、計画に沿って適正に運営していると評価している。

利用者数については、新型コロナウイルスにより過去2年減少していたが、今年度は全体的に回復傾向にあるため、今後も利便性の向上と利用者数の増加に向け、運営していただきたい。

自主事業については、例年展開している水泳教室や昨年度からのグラウンドゴルフ教室の展開している効果として、施設利用の新規リピーター確保につながってきていることが利用者数増加から見受けられ、地域住民の定期的なスポーツ実施に寄与できていると評価することができる。今後も新規利用者や定期的な活用団体の発掘に力を注いでほしい。

危機管理体制については、指定管理団体で整備している新型コロナウイルス対策をはじめ、緊急時等のマニュアルに沿って対応しており、自然災害時でも点検結果を随時市へ報告しており、初動対応等の防災意識が高いことは評価したい。

11月末で今期の施設閉鎖となるが、冬期でも施設を活かした自主事業等を企画するなど、通年での施設活用の提案を期待したい。